

10月21日開催された
「市場まつり」で行われた
市民参加のせりの様子



あきた 市議会だより

No.172
平成30年
11月16日



- 9月定例会の概要 P 2~3
9月定例会の議決結果 P 4
一般質問 P 5~9
予算決算委員会各分科会の審査から P 9~10
11月定例会のお知らせ(予定) P 10

販売コーナーも大にぎわい!

秋田市議会ではLINEによる情報発信をしています。
LINEの「友だち追加」から「ID検索(@akitacity_gikai)」
または「QRコード」で登録できます。



9月定例会の概要

9月4日～10月10日

9月定例会では、秋田市農山村地域活性化センター条例を設定する件などの条例案5件、予算案3件、単行案2件をすべて可決したほか、平成29年度秋田市一般会計、特別会計および公営企業の決算4件を認定しました。さらに、人事案1件に同意しました。



予算

県・市連携文化施設整備事業

県・市連携文化施設の整備を進めるため、本体工事等を行います。

事業期間度まで
29年度から33年

補正額（継続費補正）
89億7千956万4千円

事業内容
本体工事、設計監理、工事監理、駐車場整備、外構工事、埋蔵文化財調査等

子ども・子育て支援システム更新経費

教育・保育施設の利用に関する支給認定および利用決定、保育料算定等を円滑に行うため、新たにシステムを構築します。
債務負担行為
5千912万円

合葬式墓地整備事業

市民の墓地需要に対応するため、北部墓地内に新たに合葬式墓地を整備します。

整備施設 墓石、参拝スペース、植栽等

収容体数 1千142万7千円
1千500体

泉・外旭川新駅（仮称）等整備事業

運行中の列車の安全性を確保するため、新駅の整備に支障となる施設の一部について、先行して移転等を行います。

事業期間度まで
29年度から33年

補正額（継続費補正）
2億3千万円

事業内容
駅施設整備区域
内に設置されている施設（レール、列車止め、架線、修繕庫、構内防止柵等）の移設等



被災した市道岐谷峡線

公共土木施設災害復旧事業

5月18日、19日の大雨により被災した道路、河川、公園を早期に復旧し、安全確保を図ります。

- 市道岐谷峡線の道路復旧
- 準用河川会沢川ほか2河川の護岸復旧
- 一つ森公園の園路ののり面復旧

1億2千500万円

施行期日 31年4月1日から
(利用申込等に係る規定は3月1日から)

秋田市農山村地域活性化センター条例を設定

農山村地域活性化センターを設置し、その管理を指定するとともに、その利用料金等を定めるため、条例を設定しました。



農山村地域活性化センターの設置が予定されている旧上新城中学校

条例

秋田市農山村地域活性化センター条例の一部を改正

勝平小学校、勝平中学校共同調理場において浜田小学校の給食を調理することに伴い、同共同調理場の名称を改めるため、改正しました。

放送コンテンツ海外展開強化事業費負担金

秋田テレビ株式会社が県内自治体等と連携してインバウンドの拡大を目指して実施する『アニメ「いとしのムーラ」あきた旅』活性化事業に対して、負担金を拠出します。

129万6千円

秋田市立学校給食共同調理場設置条例の一部を改正

勝平小学校、勝平中学校共同調理場において浜田小学校の給食を調理することに伴い、同共同調理場の名称を改めるため、改正しました。

施行期日

31年4月1日から

9月定例会の議決結果

◆全員一致で可決、認定および同意した議案

全員一致で可決等された議案等は件名のみを掲載しています。

件 名	
市長提出	秋田市養護老人ホームの設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件
	秋田市農山村地域活性化センター条例を設定する件
	秋田市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する件
	秋田市立学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する件
	秋田市議会議員および秋田市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する件
単行案	住居表示の実施区域および当該区域における住居表示の方法を定める件
	秋田市総合環境センター最終処分場排水処理施設大規模改修工事請負契約を締結する件
予算案	平成30年度秋田市市営墓地会計補正予算（第1号）の件
	平成30年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第1号）の件
決算	平成29年度秋田市水道事業会計決算認定の件
	平成29年度秋田市下水道事業会計決算認定の件
	平成29年度秋田市農業集落排水事業会計決算認定の件
人事案	秋田市公平委員会委員の選任について同意を求める件

◆賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等は各議員の表決状況を掲載しています。

★賛否は、賛成(○)と反対(×)で掲載しています。

○：賛成【可決・承認・認定・同意・採択】、×：反対【否決・不承認・不認定・不同意・不採択】、議：議長

★略記している会派の名称

「公明党」は公明党秋田市議会、「フロンティア」はフロンティア秋田、「社・市」は社会・市民連合、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

各議員の表決状況は市議会ホームページでも公開しています。

請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者(代表者)の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話018(888)5784

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

答 小・中学校の適正配置

問 伝統文化が異なる地域の学校の統廃合により、地域の伝統芸能の継承等に影響が出ることも予想されますが、適正配置の検討に際し、地域の伝統文化をどのように加味するのですか。

答 各学校では、地域の方々との交流を通じて、地域の歴史や文化などを学び、地域への愛着や誇りをはぐくむ教育活動を大切にしており、こうした活動が地域の伝統文化の担い手を育てる場となっています。このことは、学校が統合され、学区が広がっても継承されるべきものと考えております。地域との協議において、伝統文化を引き継いでいく活動のあり方について検討しています。

◇イージス・アショア ◇秋田市立地適正化計画と都市内地域分権 ◇小・中学校の適正配置 ◇子供たちの学びの環境整備と子育て支援の充実 ◇文化振興 ◇交通施策 ◇秋田港周辺の観光振興

秋水会
細川信二

県・市連携文化施設

問 同施設運営管理計画の策定に当たっては、素案作成のためにワークショップの参加者を公募し実務レベルの声も聞いているようですが、さらに専門的知識を有する方からの意見を反映できるよう努めるべきではありますか。

答 平成29年度は、基本設計に当たり、県内外のプロモーター等との意見交換会を4回実施したほか、平成30年度は、運営管理計画の策定に当たり、プロモーター、文化団体等の利用者代表、文化施設運営者などで構成される検討委員会やワークショップを開催し、幅広い意見の反映に努めています。今後も開館までの間、プロモーター等との意見交換を行うほか、舞台装置、音響の技術者など専門的知識を有する方を含めて、さらに広く意見を伺う機会を設けるなど、より使いやすい施設となるよう検討を重ねてきます。

◇ワーク・ライフ・バランス ◇教職員の働き方改革 ◇子育てしやすい環境づくり ◇児童生徒の安全確保 ◇自転車活用の推進 ◇防災対策

藤田

病児・病後児保育

問 病児保育および病後児保育の利用状況はどうですか。また、施設や利用定員を増やす考えはありませんか。

答 平成29年度の利用状況については、病児保育は、利用者が延べ1千232人で増加傾向にあり、病後児保育は、延べ318人で減少傾向にあります。施設や利用定員の拡大については、実施施設がない地域があることや感染症の流行期に利用できない場合があることから、設がありません。施設や利用定員の確保、必要となる経費などの諸課題が想定されることは、先進的な取り組みについて、調査・研究していく必要があります。

答 ICTを活用した見守りシステムには、ICタグの使用により、子どもの位置情報や登下校した時刻を保護者に知らせるものなどがあり、児童生徒の安全確保の有効な手段の一つと考えています。しかしながら、導入に当たっては、保護者の同意やセキュリティーの確保、必要となる経費などの諸課題が想定されます。

児童生徒の安全確保



■本会議の傍聴について

本会議は、ケーブルテレビで生中継、インターネットで生中継および録画配信しています。傍聴されている方も映る場合がありますのであらかじめご了承ください。

議場には、磁気ループシステムを設置しています。補聴器をお使いの場合は“T”モードに切り換えてください。また、専用受信機も用意していますので、希望される方は傍聴受付にお申し出ください。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

市民クラブ
見上万里子

問 福祉行政
本市の認知症高齢者の徘徊の現状把握をどのように行っていますか。

答 今後の市営墓地については、募集時に市民ニーズを聞き取るとともに、応募状況等を踏まえて、整備内容を検討していきます。なお、共同墓など、新たな形態の墓地につきましては、今後研究していきます。

問 市営墓地を希望する市民から聞き取りを行い、市民ニーズを把握した上で、今後の市営墓地の整備内容を検討してはどうですか。

答 今後の市営墓地については、募集時に市民ニーズを聞き取るとともに、応募状況等を踏まえて、整備内容を検討していきます。なお、共同墓など、新たな形態の墓地につきましては、今後研究していきます。

◇本市への移住◇ホームページ等◇人事行政◇本市施設の駐車場の整備◇スポーツ振興◇秋田市卸売市場◇福祉行政◇市営墓地◇児童館の整備◇除排雪◇公金の取り扱い◇イージス・アショアの配備候補地

問 児童館の整備
子どもの居場所である児童館の今後の建て替えや施設の維持をどのように図っていますか。

答 本市では現在、児童館の整備に係る個別施設計画を定めています。その基本方針として、築30年以上の児童館については、老朽化の進行度や利用児童数の推移、小学校の統廃合の状況等を総合的に勘案し、順次改築し、築30年未満の児童館については、計画的な改修により長寿命化を図つていく予定としています。

問 市営墓地を希望する市民から聞き取りを行い、市民ニーズを把握した上で、今後の市営墓地の整備内容を検討してはどうですか。

答 今後の市営墓地については、募集時に市民ニーズを聞き取るとともに、応募状況等を踏まえて、整備内容を検討していきます。なお、共同墓など、新たな形態の墓地につきましては、今後研究していきます。

明になった際の捜索のため、市内3カ所の警察署があり、本市はネットワークの協力機関となっていることから、徘徊の現状については、警察署からの情報提供により把握しています。行方不明者の多くは、当日中に警察や市民により発見され、他者に被害を与えたり、損害賠償を請求されるような事案は今のところ発生しません。

公明党秋田市議会
松田豊臣

問 本市の認知症高齢者の徘徊の現状把握をどのように行っていますか。

答 今後の市営墓地については、募集時に市民ニーズを聞き取るとともに、応募状況等を踏まえて、整備内容を検討していきます。なお、共同墓など、新たな形態の墓地につきましては、今後研究していきます。

問 地域住民にとって実効性の伴う避難勧告等の出し方を検討し、周知すべきではありませんか。

答 避難勧告等の避難情報については、各種の気象データや観測データおよび現地派遣職員からの報告を基に、避難判断マニュアルに従い、発令しています。避難行動を促進するため、平成29年度から緊急告知ラジオを要配慮者利用施設等に貸与し、30年度も、浸水被害にあつた自主防災組織や町内会に配付することとしています。なお、避難情報の発令に際しては、避難勧告や避難指示のどちらが緊急性が高いのか分かりづらいうなどの声があることから、できるだけわかりやすい言葉で行うよう努めています。

◇イージス・アショアの配備◇地域経済の活性化◇観光振興及び産業振興の拠点創造による地域活性化◇防災・減災等◇雪対策◇食品ロスの削減

雪の利活用

問 雪の持つ潜在的エネルギーの利活用を目指した、産学官連携での取り組みが必要ではありませんか。

答 雪の冷熱エネルギーについては、国が新エネルギーとして位置付け、利用促進を図っていますが、その冷房利用などにおいては、施設の建設コストが高いことや、広い敷地が必要なことなどから普及が進んでおらず、また、本市への導入についても気象条件などから導入に適した環境にはないものと認識しています。しかしながら、雪の冷熱エネルギーは、二酸化炭素をほとんど排出しないなどのメリットもあり、今後の雪利用技術の進展によっては利活用できる可能性があることから、引き続き、秋田県自然エネルギー開発協会等を通じ、幅広く情報収集するなど、その調査・研究に努めています。



■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル101ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。11月定例会の本会議は、11月28日、12月7日、10日、11日、20日に開催予定です。

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

社会・市民連合
工藤新一

秋田犬ふれあい処
in 千秋公園

問 今シーズの事業内容を多角的に検証した上で、抜本的な見直しが必要ではありますか。

答 秋田犬との触れ合いは、4頭が日替わりで行い、飼い主と動物取扱責任者が犬の体調を把握しながら休憩を挟んでいるほか、触れ合いの人数や時間に制約をもつ。同施設では、当初の予想を上回る来場者への対応や、夏の暑さ対策などが課題として挙がっていることから、今後は、運営スタッフの増員や、暑い時期の展示環境の改善など、来場者と犬の双方に配慮した見直しを行っていきます。

◇イージス・アショアの配備
◇危機管理体制◇秋田犬ふれあい処 in 千秋公園の見直し
◇泉・外旭川新駅（仮称）の危険性等◇家庭ごみ処理手数料相当額の使途の見直し◇フッ化物洗口事業

イージス・アショア

問 新屋勝平地区振興会からの要望書は、8月に行われた住民説明会を終えてもなお、配備候補地の選定に納得がいかず、電磁波による健康被害や日常生活への影響などの不安、懸念が払拭されないため提出されたものと認識しています。そうした住民の思いを重く受け止め止め、8月27日に防衛省から説明を受けた際、新屋演習場での調査に着手する前に、他の国有地や民間の土地を含め、適地がないか再調査すべきと強く要請しましたところです。防衛省では、今後、各種調査と並行して他に適地がないか調査を行うとしていることから、まずは、これらの調査結果を見極めていきます。

問 配備候補地に近接する新屋勝平地区振興会から、本市に対し配備計画の撤回を国に求める要望書が提出されました。が、住民の声に向き合い、明確な意思表示が求められる段階であり、市として配備に関する判断をするべきではありませんか。

答 近年、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、終活についての関心が高まっています。終活には、葬儀や納骨のほか、延命治療の希望、遺言管理などがあり、その多くは、基本的には、個人や家族の支え合いといった自助により、本人の意思を尊重して行われるものと認識しています。ほかに頼る人がいない方への支援についても、自助を基本としつつ、必要に応じて法テラス秋田などの専門相談窓口等につなぐほか、成年後見制度の利用を促すなど、高齢者の状態に応じた支援を行っています。

問 身寄りがないなど、頼る人がない方への終活支援について、市としてどのように考えてていますか。

答 現在整備を進めている都市計画道路川尻広面線の横町工区は、県が事業主体となって平成26年度から事業に着手し、約5割の用地買収が完了しています。30年度は、用地買収や建物移転補償などを進めるとともに、31年度からは道路工事に着手する予定です。今後は、事業の進捗を見ながら、当該路線沿線の町並み形成や周辺エリアとの連携など、地元関係者とともに、地域の特色を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。

秋水会川口雅丈



都市計画道路
川尻広面線
(横町工区)

議会の動き

8月30日 議会運営委員会
9月4日 9月定例会
(10月10日まで)
10月19日 編集委員会

10月22日 各派会長会議
23日 総務委員会行政視察
(10月24日まで)
25日 教育産業委員会行政視察
(10月26日まで)

10月26日 編集委員会
11月6日 議会運営委員会視察
(11月7日まで)

地域の諸課題

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問



答 市立小中学校のトイレの洋式化については、大規模改修工事や個別改修により、順次、取り組んできたところであり、今年度末における洋式化率は、小学校54・1%、中学校50・6%、全体で52・8%となる見込みです。今後も引き続き、計画的な改修に取り組むことにより、洋式化率の向上に努めていきます。

問 小中学校のトイレの洋式化について、平成30年度で中学校においても洋式化率50%を達成する予定となっていますが、31年度以降はどのように整備を進めていくのですか。

◇イメージス・アンヨアの配備
◇小中学校の学習環境◇通学路の安全確保◇仲小路へのアーケードの設置

そうせい
さい
藤とう
まさる
勝



答 平成30年6月18日の大
阪府北部を震源とする地震
によるブロック塀倒壊事案
を受け、本市では、7月中
旬から小学校の通学路沿い
にあるブロック塀について、
職員による点検調査を
実施しているところです。
倒壊の危険のあるブロック
塀の撤去、修繕等の費用の
補助については、この調査
の結果を踏まえ、他都市の
事例や国の支援制度等の動
向も勘案しながら、研究し
ていきます。

問 子どもの安全な通学を確保するため、通学路のブロック塀についても、点検を実施するべきではありますか。また、倒壊の恐れのあるブロック塀については、修繕費用を補助する考えはありませんか。

通学路の安全確保

答 旧県立美術館について
は、県・市連携文化施設の整備を前提に、中心市街地を芸術文化ゾーンとして面的に充実するという本市のまちづくりの指向性を踏まえ、利活用案を検討し、ゾーンの各施設と役割を分担し連携を図り、新たなまちの魅力とにぎわいの創出に貢献する施設として（仮称）秋田市文化創造交流館としました。検討に当たり、県からは、旧県立美術館の建物は温湿度管理等の面で美術品などの長期間の展示、保管には適さない状能と伺っており、既存の文化施設機能を移すことは難しく考えたものです。

問 千秋美術館、岡田謙三
記念館または佐竹史料館の
いづれかを旧県立美術館に
移すことを検討するべきで
はありませんか。

◇異常気象新時代における木
市の対応◇旧県立美術館◇古
民歌◇「にぎわい」創生◇健
康づくり等◇子育て交流ひる
ば◇教育◇公共施設整備

秋水会 原わら 琢たく 戎や

今のことろ統合医療による具体的な取り組みは考えていませんが、引き続き、国との動向を注視していきます。本市の健康寿命延伸に向けた取り組みは、第2次健康あきた市21に基づき、望ましい食生活の習慣化を目指す、栄養改善学級や、幅広い年齢層に対する運動習慣の定着化を図る、歩くべききた健康づくり事業、いいあんべえ体操普及啓発事業など、市民が主体的に健康づくりに取り組める事業を中心いています。今後も、計画に基づく取り組みの着実かつ効果的な実施により、健康寿命の延伸につなげていきます。

問 総合医療を含め、本市の健康寿命延伸に向けた取り組みの具体は何ですか。

健康寿命の延伸

■行政情報アプリ「マチイロ」について

スマートフォンやタブレット端末用の広報紙閲覧アプリ「マチイロ」であきた市議会だよりを配信しています。

専用アプリをダウンロードしてご利用ください。
※マチイロ公式サイト <http://machiiro.town>



アプリダウンロード
QRコード

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

答 平成29年度には、県・市連携文化施設等の設置を要望する考え方があります。また、御所野学院高等学校を同大学の附属高等学校に移管することはできませんか。

問 新たな市政課題に対してどのような体制づくりをして臨んでいくのですか。

答 同大学に附属高等学校の設置を要望する考え方はありませんか。また、御所野学院高等学校を同大学の附属高等学校に移管することはできませんか。

秋水会
工藤四郎

答 6月県議会で、同大学の附属小・中学校の設置に関する質問があり、知事はさまざま課題をクリアする必要があるとしつつも、今後関係者と協議していく考えを示したところです。こうした検討が進められようとする中、同大学への進学を含めた附属学校の方について議論することは意義のあることととらえており、県が進める協議において、高校の設置についても、将来的な検討課題の一つとして議論していただけます。新たな学校づくりに取り組んでいるところであり、同校の魅力アップに努めています。

問 同大学に附属高等学校の設置を要望する当初からこの事項を検討しなかったのですか。

機構を構築し、新たな市政課題にも適切に対応できる組織・執行体制づくりに取り組んでいきます。

予算決算委員会各分科会の審査から（平成30年度補正予算について）



県・市連携文化施設
イメージ図

企画財政部 基本構想等の策定段階では、県民会館においてはホールの壁面等の詳細な仕様まで検討していましたが、その後、基本設計時のワークショップなどから、秋田らしいしさをアピールできる施設にするべきとの意見が県・市に示されたことなどにより、実施設計の段階で県産材・伝統工芸品の活用を精査したものです。

申請の要件について、現段階では対象年齢の引き下げ等は検討していないとのことでしたが、家族構成やお墓の有無など、申請者の事情にも耳を傾けながら、本当に困っている方に関する柔軟な対応を検討すべきではありませんか。

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

総務分科会



北部墓地

市民生活部 今後、生前申請の要件等については、さまざまな観点から多くのケースを想定するなど、幅広い視点を持って検討していきたいと考えています。

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

厚生分科会

予算決算委員会各分科会の審査から（平成29年度決算について）



友好・姉妹都市青少年会議

委員 友好・姉妹都市交流推進事業では、各都市との周年事業などを通してどのような成果があったと考えていますか。

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

総務分科会

ち、特に、平成29年度に初めて開催した友好・姉妹都市青少年会議については、友好・姉妹都市に招聘し、環境問題をテーマにワークショップなどの話し合いを通して交流を深めしたことなど、市民間交流を次世代につないでいく場を提供したことは、大きな成果の一つであったと考えています。

市青少年会議については、友好・姉妹都市の青少年を市に招聘し、環境問題をテーマにワークショップなどの話し合いを通して交流を深めたことなど、市民間交流を次世代につないでいく場を提供したことは、大きな成果の一つであったと考えています。

同事業のう

友好・姉妹都市交流推進事業では、各都市との周年事業などを通してどのような成果があったと考えていますか。

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

厚生分科会

委員 地域づくり交付金について、制度開始から数年が経過しましたが、これまでの活用実績等を踏まえ、同交付金の成果をどのように評価していますか。また、今後の取り組みはどうですか。

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項



秋田ノーザンハピネット

委員 スポーツホームタウン推進事業について、トップスポーツクラブ3チームへ多額のスポンサー補助をしていることの効果を、どのように認識していますか。

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

教育産業分科会

平成23年度から実施している同交付金制度は、平成29年度末で7年が経過し、交付総額も1億円を超えるに至っており、地域課題の解決や地域力向上などに取り組む公益的な活動に役立てられていることから、成果はあるものとらえています。今後は、まちづくり活動などに活動していくだけけるよう、相談会などを通じてさらなる交付金の活用について働き掛けていきます。

委員 溶融施設排ガス設備改修事業については、新たに設定された水銀の排出規制に対応するための設備改修に向け、試験的に排ガスへの活性炭の吹き込みを行い、溶融施設における排ガス中の水銀除去率を調査したものですが、その結果はどうでしたか。

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

建設分科会



秋田市総合環境センター

環境部 同事業による調査の結果、排ガスの量に対する結果が確認できたところによって、排ガス中の水銀の約90%が除去できることにより、同程度の能力を有する設備の設置に向け、平成30年度から工事を進めているところです。

委員 溶融施設排ガス設備改修事業については、新たに設定された水銀の排出規制に対応するための設備改修に向け、試験的に排ガスへの活性炭の吹き込みを行い、溶融施設における排ガス中の水銀除去率を調査したものですが、その結果はどうでしたか。

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

次回のあきた市議会だよりは平成31年2月1日発行予定です。



11月定例会のお知らせ（予定）

日 程

- | | |
|--------------|-----------|
| 11月28日 | 本会議 |
| 12月7日、10、11日 | 本会議「一般質問」 |
| 12日～14日 | 常任委員会・分科会 |
| 18日 | 常任委員会 |
| 20日 | 本会議 |

一般質問予定者

- 安井正浩、熊谷重隆、
岩谷政良、小木田喜美雄（秋水会）
小松 健（そうせい）
渡辺良雄（市民クラブ）
武田正子（公明党秋田市議会）
倉田芳浩（フロンティア秋田）
鈴木 知（日本共産党秋田市議会議員団）

※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。

日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

